

情報感を研ぎ澄ます! —— ビジネス情報誌 EL NEOS[ザ・ニュース]

# エルネオス

2020 **4**  
April

正しく怖がる新型コロナウイルス／オンライン教育普及へ／レナウンに買収説／日本郵政  
金融機関システム障害急増／「新聞記者」日本アカデミー賞／森ビル銀座撤退?／富士通



<http://www.elneos.co.jp/>

# お金の仕組みの摩訶不思議 第10回

## 新型コロナウイルスは世界人口削減策?

### 監視型専制社会を求める中央銀行カルテル



「この感染症は米軍が武漢に持ち込んだものかもしれない」

新型コロナウイルス(COVID-19)

の発生によって、利益を受ける人々は誰か? 欧米も中国も国民を監視するシステムを構築し、権力者が統治しやすい社会の実現を目指しているのか? その手段はデジタルDやワクチンか? 中央銀行カルテルがその先鋒となっているのか? 疑問は次々湧いてくる。国際金融のからくりを解き明かし、米国でベストセラーとなった『負債の網』那須里山舎刊の著者エレン・ブラウン氏に見解を伺った。

#### 台湾の専門家は 米国発生源説を展開

——中国外務省の趙立堅報道官(写真)が三月十二日に、ツイッターで新型コロナウイルスについて「米国で初めての感染はいつ発生し、何人が感染したのだろうか? この感染症は米軍が武漢に持ち込んだものかもしれない。米国は透明性をもって、データを公開しなければならぬ」などと書き込みました。

ブラウン氏 その翌日、趙報道官はツ

ィッターに米国のラリー・ラマノフ教授の記事を掲載しましたが、一晩で八万五千件のコメントがあったそうです。  
<https://www.globalresearch.ca/covid-19-further-evidence-virus-originated-us/5706078>

——ラリー・ラマノフ教授の記事を読むと、新型コロナウイルスが発生したのは米国だということになりますね。

ブラウン氏 そうですね。台湾の伝染病の専門家が、昨年十二月には米国で新型コロナウイルスが発生しているのではないかと、アメリカ疾病管理予防センター(CDC)に問い合わせをしています。返事がなかったそうです。ところが三月十二日にCDCの責任者であるロバート・レッドフィールド氏が、米国議会で新型コロナウイルスが、かなり前から米国で発生していた可能性があると証言したので、問題が大きくなりました。

——この台湾の専門家は、新型コロナウイルスの発生源をたどって、米国だと突き止めたとしていますね。ウイルスというのは根幹があつて、それから変異をしていくそうですが、これまでに分かっている五種類の全ての変異が見つかっているのは米国だけで、中国で蔓延したウイルスは、一種類だけだ

そうです。

<https://www.globalresearch.ca/china-coronavirus-shocking-update/5705196>

ブラウン氏 サンプルが間違っていないければ、その推論は正しいことになり  
ます。

——ラリー・ラマノフ教授は米国の陸軍感染症医学研究所が震源地だと推論  
しています。

<https://www.nytimes.com/2019/08/05/health/germs-for-t-detrick-biohazard.html>

ブラウン氏 アメリカ陸軍フォート・デトリック基地の中にある生物兵器研究所ですね。昨年八月五日に閉鎖されて  
います。廃水の管理が不十分なた



Ellen Brown 米国ロサンゼルス出身の作家、司法弁護士、社会活動家。公共銀行制度研究所の創始者であり会長 (<http://www.publicbankinginstitute.org/>)。「THE WEB OF DEBT」(『負債の網』那須里山舎刊)は米国でベストセラーとなり、「Public Bank Solution」(本邦未訳)では、公共銀行の必要性を説いている。最新刊は「Banking on the People」(本邦未訳)で、2019年6月1日に米国で出版された。ブログはEllenBrown.comで読むことができる。民主的な経済を研究する「The Democracy Collaborative」のフェローでもある。

めだそうです。CDSは国家機密なので、閉鎖の理由は述べられないと言っています。

——この話はニューヨークタイムズ紙で大きく取り上げられていますが、この生物兵器研究所はSARSやエボラ出血熱なども研究していますね。ここが発生源だとすると、新型コロナウイルスが、研究所で作られた可能性が強まりますね。

ブラウン氏 ラリー・ラマノフ教授は人工的に作られたという考えですが、私の立場は、判断を専門家に任せるといふものです。大地さんには遺伝子工学が使われているという見解の存在をお知らせしましたが……。

——ありがとうございます。ところで、

今度の新型コロナウイルスの発生で利益を受ける人々は誰でしょうか？ 例  
えば、中国政府にとつては人民の支配  
を強化する絶好のチャンスかもしれま  
せんね。電子カードや生体認証で市民  
の情報をすべて医療機関が把握すれば、  
その情報は警察にも流されるでしょう。  
伝染病対策として国民の支持を受けて  
情報収集できるので、中央政府は好都合  
合と思っているかもしれません。香港  
制圧もこの方法で行われるとか……。

ブラウン氏 そういえば、中国の専制  
型国家を理想だとする欧米人もたくさ  
んいます。そういう人たちが、中国を  
監視国家の実験台にしようと思ってい  
るといふ記事を読んだことがあります。

### 中央銀行カルテルが目指す エリート支配の専制国家

——米国も利益を得ていますね。最大の  
敵である中国とイランが苦しんでい  
ますし、韓国も米国に反抗的です。イ  
タリアは中国の国策である「一帯一路」  
に協力的です。

ブラウン氏 確かに米国も受益者の候  
補になると思いますが、米国でも新型  
ウイルスが蔓延して、株価も大暴落し  
て大変な損害を受けています。

——中国の専制型国家を理想とする欧

米人というのは、ロックフェラー財団

や世界最大の慈善基金財団であるゲイツ財団(ビル&メリンダ・ゲイツ財団)を支配している人々のことでしょうか？ 今、スウェーデンでベストセラーとなっている『ゲームを支配するロックフェラー家』(Rockefeller: Controlling the game by Jacob Nordangard, Ph.D.)という本を読んでいるのですが、彼らが目指す理想は専制国家の世界だそうです。

ブラウン氏 そうですね、エリートが支配する専制国家ですね。それは中央銀行カルテルが目指す世界です。

——この本によると、ロックフェラー  
家が目指す理想世界は、一つの世界と  
世界政府だそうです。地球に負担をか  
けないために人類の数を半分に減少さ  
せる必要があると考えています。さら  
にトランスヒューマニズム(科学技術  
で積極的に人間を改良する思想)を信  
奉しており、エリートと庶民の格差は  
当然だとしています。そして白人が世  
界を支配するべきだと思込んでいる  
ようです。彼らの目指す社会は人間の  
自由を束縛する監視国家で、民主主義  
は面倒を起こす厄介な存在だと見なさ  
れています。究極的にはエリート大富  
豪と銀行家による世界支配になるそう

です。

**ブラウン氏** そういう考え方の持ち主を、米国では「グローバリスト」または「インターナショナルリスト」と呼びます。実は現代社会の「お金の仕組み」をつくり上げてきたのも、彼らです。

——「グローバリスト」が国際金融資本を支配しているということですね。新自由主義経済学のメッカであるシカゴ大学も、ロックフェラー家がついていますし、国際連合が立っているニューヨークの一等地もロックフェラーが寄付したものです。

**ブラウン氏** その通りです。彼らは一つの世界を求めているので、グローバルな組織の設立を好みます。もう亡くなってしまいました。スタンダード石油を創業して、世界一の大金持ちだったジョン・ロックフェラーの孫にあたるデービッド・ロックフェラーは、チエースマンハッタン銀行の頭取を長く務めました。典型的な「グローバリスト」でした。

——英国のインディペンデント紙で、彼は「インターナショナルリストであり、世界政府設立の陰謀を持ち、そのために尽力していることを誇りにしている」と表明していますね。日本では、デービッド・ロックフェラーは素晴ら

しい慈善家で、日米欧三極委員会を創つてくれた日本の味方という印象しかないのですが……。

**ブラウン氏** デービッド・ロックフェラーは一九四五年から一九八五年まで外交問題評議会の理事でした。外交問題評議会は米国の影の政府といわれるほどの影響力を持っています。デービッドは一九四四年のブレトンウッズ会議の発足に、重要な役割を果たしていますが、この会議で国際通貨基金（IMF）や世界銀行がつけられています。つまり世界政府を設立する布石を積極的に打っています。彼が設立した「ビルダーバーグ会議」や日欧米三極委員会も世界の大金持ちやエリートたちによる、「これから世界をどうするか……」を議論する場所です。

——それは必要なことですね。

**ブラウン氏** それはそうなのですが、「グローバリスト」たちはダークサイド（暗黒面）を持っているともいわれています。国民を監視する専制国家を好むとか、エリートや銀行家による世界支配だとか、先程のスウェーデンの本が指摘するような面です。

——それは真実でしょうか？

**ブラウン氏** このことに関しては、ロックフェラー家のニコラス・ロックフ

エラーと家族ぐるみで仲良く付き合っていた、ハリウッドの有名な映画プロデューサー、アーロン・ルツソの証言があります。内容があまりにもサイエンス・フィクションのようで、証言した二〇〇七年の時代では、本当だろうかと思いを疑いました。ところが新型コロナナウイルスの蔓延などを見ていると、アーロン・ルツソの証言には真実性があるように思えてきます。

<https://www.youtube.com/watch?v=0vBg6ETYM&list=PLUZYvMXIIPwrbSLjTdpIIYOtW2Efe&index=7&t=0s>

### 「グローバリストが狙う」「男女同権」の本音

——アーロン・ルツソという名前は、聞き覚えがあります。

**ブラウン氏** ルツソ監督の代表作はシソガー・ソングライターのジャニス・ジョプリンの生涯を描いた「ローズ」です。ニコラス・ロックフェラーは外交問題評議会の理事でしたが、親しかつたアーロン・ルツソをメンバーにしようとしていたわけです。

——どんな証言でしょうか？

**ブラウン氏** ルツソによると「グローバリスト」たちは欧米の銀行家による

世界支配を狙っています。将来的には「アメリロ」というデジタル世界通貨をつくるそうです。彼らの理想世界はキャッシュレスで、人々の体にチップを埋め込み、お金の出し入れも、税金の支払いもチップを使って行われます。銀行家たちの支配体制に反抗する人々が出てきたら、そのような人々のチップは無効にされます。そうなると思えば物も買えなくなります。チップを埋め込むためにワクチン接種をするので、「グローバリスト」たちは国民が喜んでワクチン接種を受ける世界をつくらうとしています。

——なるほど、確かにSFの世界ですね。

**ブラウン氏** ウーマンリブなど女性の権利を主張する運動も、ロックフェラー財団が強力に後押ししています。なぜ支援をするのか、その理由もニコラス・ロックフェラーはアーロン・ルツソに説明しています。

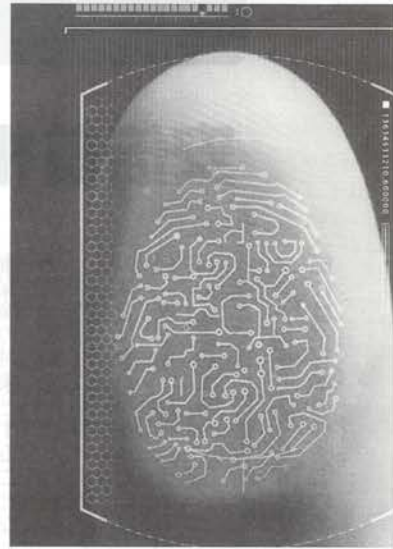
——選挙権と同じで、男女同権を支援するのは当然ではないのですか？

**ブラウン氏** ニコラス・ロックフェラーによると「グローバリスト」たちの本当の狙いは別にあるそうです。

——何でしょうか？

**ブラウン氏** 一つは税金を払う人の数

## program to provide digit



ram at its annual summit in New York, in collaborat  
artners in government, academia, and humanitari

を二倍にすることです。二つ目は、子どもたちに家庭教育を受けさせないこととです。教育を学校や社会に任せて、子どもたちの家族は学校であり政府であると洗脳したいわけです。

——全体主義が支配する世界ですね。

「アームを支配するロックフェラー家」により、気候変動と環境問題の政治化にも、早くからロックフェラー家は関与していたそうです。この場合も、真の狙いは別にあつて、世界を一つにするためだそうです。国家を超えた枠組みをつくるには、天変地異や伝染病の蔓延は好都合だと考えているとのこと。ロックフェラーの財団グループは、お金儲けも上手で、環境問題を盾に石油産業への反対運動をする一方で、グループの別の財団が安く買った石油産業の株を買い上げるなど、さまざまな戦略を行使しているそうです。

ブラウン氏 ID2020アライアンスを存じですか？  
<https://id2020.org/overview>

——知りません。

ブラウン氏 世界中の人々にデジタルチップを埋め込もうという運動です。このデジタルIDがあれば、どこにいても誰だかがすぐ分かるわけです。連盟をつくっているのは、ロックフェラー財団やマイクロソフト、それにGAVI（アライアンス）ワクチンと予防接種のための世界同盟）です。GAVIアライアンスのメンバーは、世界保健機構（WHO）、国際連合児童基金（UNICEF）、世界銀行、ゲイツ財団などですが、世界のエリートで構成されている世界経済フォーラムが二〇〇〇年に設立しています。

——錚々たるメンバーですね。

ブラウン氏 二〇一九年九月二十日の

新聞によると、バングラデシュ人民共和国と米国のテキサス州オースチン市で、人々にデジタルIDをワクチン接種することが決まったそうです。  
<https://www.biometricupdate.com/201909/id2020-and-partners-launch-program-to-provide-digital-id-with-vaccines>

### 奇妙な会合だった「Event 201」

——写真を見ると親指の指紋の場所にチップが埋め込まれるようです。

ブラウン氏 ワクチン接種にはさまざまな問題があります。ケニアでは二〇一四年にWHOとUNICEFがカンリックの神父たちに訴えられています。  
<https://www.globalresearch.ca/depopulation-vaccine-in-kenya-and-beyond/5413445>

——何があつたのでしょうか？

ブラウン氏 二百三十万人の少女や若い女性たちに破傷風のワクチンが接種されたのですが、そのワクチンの中には、流産を起こす薬が入っていたのです。そのような薬が入られていたことは、南アフリカ共和国の研究が確認しています。

——アフリカの人口を減らすためです。

ようね。世界保健機構やUNICEFは、何のためにあるのでしょうか。

ブラウン氏 二〇一九年十月十八日にニューヨークで開催された「Event 201」も奇妙な会合でした。「高度な世界的伝染病の演習」を行ったのですが、主催者はジョンズ・ホプキンス大学、ゲイツ財団、世界経済フォーラムです。  
<http://www.centerforhealthsecurity.org/event201/>

——私も映像を観ましたが、今回の新型コロナウイルスの蔓延を正確に予言していますね。この演習では全世界で六百五十万人の犠牲者が出ると予測されています。

ブラウン氏 この会議で議論された内容をみると、「世界統治の強化」「フェイクニュースへの対抗策」「ワクチン接種反対者たち」の抑圧の重要性が討議されています。

——なにか薄気味悪いですね。

ブラウン氏 最近の世界で起こっていることを見ると、新型コロナウイルスの蔓延も、単に米国と中国の世界支配の覇権争いなどという次元ではないかもしれません。もっと長期の戦略を基に、深い思索をしている人々がいるのかもしれません。

（以下、次号に続く）